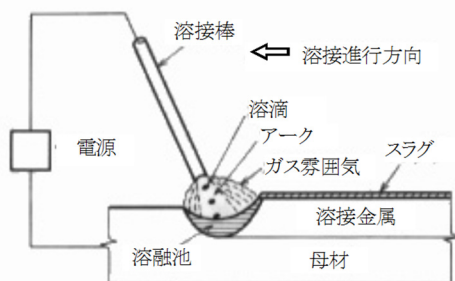


あ

アーク溶接 〈あーくようせつ〉

arc weldings

被覆アーク溶接棒と溶接しようとする材料との間に放電によるアークを発生させ、生成する熱によって母材と溶接棒の両方を溶かしながら行う溶接をいう。溶接継手の形状として材料の小口と小口を突き合わせる突合わせ溶接と側面を溶接するすみ肉溶接等がある。アーク溶接機は、アークが安定して持続するように電気の流れをコントロールすることを基本機能とするが、溶接ワイヤの供給をコントロールする自動溶接機もある。



アームストッパー

arm stopper

扉を所定の角度に開いた状態でストップさせる金具。



アール曲げ 〈あーるまげ〉

radius bending

曲げロールやアールベンダー等で板や形材を所定の曲率半径に成形加工すること。この他、直線部材のある面をプレスブレーキで、それ用の型を利用して円弧状に加工するのも広い意味でアール曲げと称している。

【同】R 曲げ

相欠き 〈あいかき〉

halving joint/ rebated joint

「相（合）じゃくり」を参照。

相（合）じゃくり 〈あいじゃくり〉

halving joint/ rebated joint

部材の継手や仕口で2つの材の接合部分をそれぞれ厚みの半分に欠き取って重ね合わせること。

【同】相欠き。



アイソ

ISO

International Organization for Standardization の略称である ISO の読み方のひとつ。

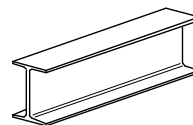
合（相）番 〈あいばん〉

作業を共にする仲間、相棒。異なる職種の作業者が共同で作業すること、あるいはその場合の相手方のこと。

アイビーム

I-beam

I 形鋼を梁（はり）として用いたもの。「形鋼」を参照。



亜鉛めっき 〈あえんめっき〉

zinc plating

鋼材の腐食を防止するために、その表面に亜鉛の皮膜を作ること。溶融亜鉛めっきと電気亜鉛めっきの2方法がある。亜鉛鉄板、亜鉛めっき鋼板などは亜鉛めっきを施した代表的な製品例である。

亜鉛めっき鋼板 〈あえんめっきこうはん〉

galvanized steel sheet/ zinc-coated steel sheet

表面に溶融亜鉛めっき又は電気亜鉛めっきを施した鋼板。耐食性に優れ、建築用では屋根葺材・外壁材として用いられる。

あおり止め 〈あおりどめ〉

window stopper

開き窓など回転軸を有するサッシあるいはドアにおいて、開放時風にあおられないようにする留め金具。開き調整器、アームストッパーなどがこれに該当する。

上り墨 〈あがりずみ〉

writing line

「陸墨（ろくずみ）」を参照。

アクリル系シーリング材 〈あくりるけいしーりんぐざい〉

acrylic sealants

乾燥硬化する1成分形で、エマルジョンタイプと溶剤タイプがある。ALCパネルのように多孔質で吸収性の大きい被着体で構成された動きの小さい目地に適している。

アクリル樹脂焼付塗装 〈あくりるじゅしやきつけとそう〉

acrylic resin baked organic coating

熱硬化性アクリル樹脂塗料で、工業用焼付塗装として用いられる。耐薬品性、耐候性、付着性等に優れ、長期間光沢を保持し、用途として主に、金属用トップコートとして広範囲に使用されている。なお、「デュラクロン」は、米 PPG Industries Inc. の登録商標。

アクリル板 〈あくりるばん〉

acrylic board

アクリル樹脂（ポリメチルメタアクリレート）で作製した板のこと。透明・半透明・不透明のものがあ、ガラスに代わって採光板・照明器具などに使用される。

【同】メタクリル樹脂板

上げ落とし 〈あげおとし〉

flush bolt

①両（親子）開きの扉で後開き扉（子扉）に使用し、後開き扉が平素は開かない様に固定する金具。一般にはフランス落としといふことが多い。

【同】フランス落とし



②軽量シャッターの中柱を固定するための中柱下部につく金具。

上げ下げ網戸 〈あげさげあみど〉

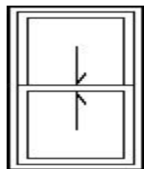
window screen-hung type

上げ下げ窓のように網戸障子を上げ下げして使用する網戸。

上げ下げ窓 〈あげさげまど〉

single hung window（片上げ下げ窓）/ double hung window（両上げ下げ窓）

2枚の障子で構成され、それぞれの障子が上下に動く窓。（両上げ下げ窓とも言う）。上下させる機構には、分銅上げ下げ、バランス上げ下げ、スプリング上げ下げなどがある。上部をFIXとし、下部の障子しか動かないものは、「片上げ下げ窓」として区別する。



アコーディオン網戸 〈あこーでいおんあみど〉

folding window screen

アコーディオンのような伸縮で開閉移動する網戸。

アコーディオン式雨戸 〈あこーでいおんしきあまど〉

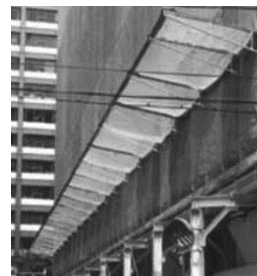
folding shutter

横引きアコーディオン式の折りたたみ雨戸。折りたたみ機構として伸縮リンクやシャッターブラットのインターロック方式などがあり、特長として戸袋スペースが小さくて済む、開閉が楽であるなどがあげられる。

朝顔 〈あさがお〉

construction guardshelf

養生朝顔のこと。建築物の工事において、落下物を防ぐ目的で2階又は3階部分の足場から斜めに突き出した板張りの防護棚をいう。



足場 〈あしば〉

scaffolding

工事を行う場合の仮設作業床となり、また作業員の通路、材料や架構中の部材などを支える目的で構築される仮設物をいう。使用材料としては鋼管足場が主流。また使用目的によって外部足場、天井足場などがある。

足場板 〈あしばいた〉

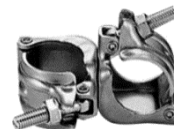
scaffolding board

本足場の腕木にかけ渡した直接的な作業床。主に、アルミや鋼などの金属製が使用される。

足場クランプ 〈あしばくらんぷ〉

scaffolding clamp

鋼管の足場を組み立てる際、交差部分に用いる結合金物のこと。



アスファルトフェルト

asphalt felt

主に木造建築物で外壁を湿式（モルタル）仕上げとする場合に用いるアスファルトを浸透させた防水シート（防水紙）。サッシ枠まわりは、防水テープを介してサッシ枠の釘打ちフィンとの間にすき間が生じないように粘着させる施工方法が望ましい。

アスベスト

asbestos

「石綿」（せきめん）を参照。

アスロック

ASLOC

「押出成形セメント板」を参照。

【商】ノザワ

あそび

slack/ play

機械の部分と部分とがぴったりと結合されておらず、その間にある程度動きうる余裕のあることをいう。機械においては、動きをスムーズにしたり衝撃を吸収したりする重要な働きを持っている。また、部材と部材、あるいは部材と補助部材・部品との嵌合部にもある程度のあそびが必要であり、嵌合しにくい場合には、「あそびがない」とか「あそびが少ない」ということがある。

アタッチメント

attachment

主部材に付属する部材や部品をいう。

圧力差〈あつりょくさ〉

pressure differential

圧力箱方式による耐風圧性、気密性、水密性の各試験において、建具の室外側の圧力と室内側の圧力との差をいう。室外側の圧力が室内側の圧力より高い状態を正圧、低い状態を負圧という。

圧力箱〈あつりょくばこ〉

pressure chamber

耐風圧性、気密性及び水密性に用いる試験装置において、一面に試験体を設置し、送風機により加圧・減圧することができるチャンバ。水密性試験においては、圧力箱内に設置された散水ノズルにより水を噴霧する。

圧力箱方式〈あつりょくばこほうしき〉

pressure chamber method

JIS A 1515 (建具の耐風圧性試験方法) 及び JIS A 1517 (建具の水密性試験方法) において、建具の室外側に加圧、減圧するための箱を取り付け、建具の室内・室外に圧力差が生じるようにした方式。

後アルマイト〈あとあるまいと〉

post anodizing

アルミニウム部材は通常、陽極酸化皮膜後に部材の加工を行うが、部材加工後に陽極酸化皮膜を行うことをいう。
【同】後皮膜

後送り〈あとおくり〉

工事の一部を後に残して施工すること。後遣り（あとやり）ともいう。

後付工法〈あとづけこうほう〉

post window installation method

建築物の躯体工事完了後、現場でサッシ等の取付けを行う方法。

後付けビード〈あとづけびード〉

push-in glazing bead

建築用ガasketのうちグレイジングガasketの一つで、ガラス等パネルを装着後にグレイジングするためのビード。パネル装着前に設置する先付けビードに対応するもの。

後皮膜〈あとひまく〉

post anodizing

「後アルマイト」を参照。

穴（孔）あけ〈あなあけ〉

drilling

主としてドリルを用いて工作物に穴（孔）をあけること。

あばら筋〈あばらきん〉

stirrup

鉄筋コンクリート構造の梁（はり）の主筋に巻いた鉄筋。せん断力による破壊に対する補強筋。柱に使用される帯筋（フープ）とは区別して呼ばれる。

【同】スターラップ



雨掛かり部分〈あまがかりぶぶん〉

rain drop surface

建物の外回りなどで雨が掛かる部分。

雨仕舞〈あまじまい〉

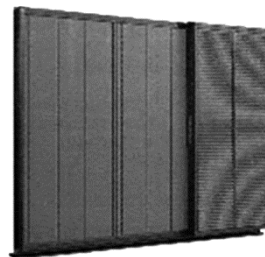
weathering/ flashing

雨水が建物の中に侵入するのを防ぐこと、又はその方法。雨仕舞を良くするためにサッシなどでは、気密材の使い方や、枠と障子の構造に工夫をこらして対処している。

雨戸〈あまど〉

storm window

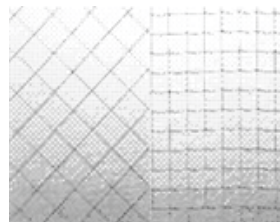
本来は、家屋の開口部の外側にたてる和風の板戸で雨がかかる場所の戸の意。現在では通常、戸袋（鏡板で覆われた戸箱形と、収納時に雨戸本体が露出する戸皿形がある）に収納された戸車付の金属製雨戸本体を1枚ずつ繰り出し、上下枠間を送って開口部を覆う。戸締めには最後の1枚に備えた落し錠（落し猿）・上錠（上げ猿）などを用いる。



網入板ガラス〈あみいりいたがらす〉

wired glass/ wired sheet glass

型板ガラス又は磨き板ガラスに金属線を入れたもので、火災の際に熱で割れても破片が脱落しにくく延焼を防ぐので、開口部の防火戸等に使用される。網入板ガラスを使用した、合わせガラス、複層ガラス等がある。



網押え〈あみおさえ〉

screen holding bead

枠組みされた網戸のかまち（框）に防虫網を張付ける場合、あらかじめ設けられた溝に防虫網を押え込むロープ。また、防鳥を目的とする場合等は、フラットバー等で網を押え込む場合が多い。網押えビード、網押えロープ、スプラインともいう。